



しろやま

《学校教育目標》

『笑顔で 元気な 東っ子』

☆進んで学習

☆自分も友達も大切に

☆心と体を鍛えて何事にもチャレンジ



山東小 HP

令和8年8月28日 文責 校長 山口 浩史

8月25日(火)より2学期が始まりました。7時30分頃に校門で児童を迎えました。児童たちは荷物をたくさん持って、額に汗を光らせながら、それでも一生懸命に歩いていました。「暑いね、おはよう。」「重いね、おはよう。」と声を掛けましたが帰ってくる声は小さかったです。久しぶりに歩いたことと暑いことが体にこたえているようでした。それでも、教室に荷物を置いて校庭で遊ぶ児童も見られました。山代東小学校の児童は元気です。嬉しいことです。

始業式では「平和」と「戦争」、「いじめ」について話をしました。過去、8月には日本や世界にとって忘れられないことがたくさん起きた月だと考えます。児童には自分の身近なところから平和につながる行動をとってほしいと思い、次のような話をしました。

みなさん、おはようございます。

長かった夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。みなさんの元気な顔を見ることができて、とてもうれしいです。

さて、今日は「平和」について話をします。

1945年8月6日に、広島に原子爆弾が落とされました。そして8月9日には長崎に原子爆弾が落とされました。その結果たくさんの方が亡くなり、生き残った人たちも長い間苦しんでいます。今も苦しんでいます。

そして1945年8月15日、日本は戦争を終えました。

みなさんは、戦争という言葉を知ると、ずいぶん昔の出来事のように感じるかもしれません。しかし、世界には今も争いがあり、多くの方が苦しんでいます。

私たちは「平和な毎日」が当たり前のように感じています。でも平和は、誰かが与えてくれるものではありません。平和は、みんなで大切にし、求め続けるものです。

ところで、戦争はどのように始まるのでしょうか。

「さあ、みんなで今日から戦争を始めよう」と、大勢の人が一斉に声をそろえて始めるわけではありません。少しずつ人を嫌ったり、相手のことを考えなくなったり、話し合うことをやめたりする中で、いつの間にか戦争へと導かれていくのです。

そして、これはいじめにもよく似ています。

いじめも、「みんなで今日からいじめを始めよう」と約束して始まることはほとんどありません。悪口を言う人がいて、それを見て笑う人がいて、見て見ぬふりをする人がいて、そのうちに、いつの間にかいじめが広がってしまうのです。

でも、考えてみてほしいのです。

戦争にも、いじめにも、「止めることができたタイミング」があったはずです。

誰かが「それは違うよ」と言えたかもしれません。誰かが相手の気持ちを考えられたかもしれません。誰かが勇気を出して助けることができたかもしれません。

戦争や平和について考えることは、小学生のみなさんにとって少し難しいかもしれません。

しかし、みなさんにもできることがあります。

クラスで一人ぼっちになっている人はいないかな、困っている人はいないかな、悲しい思いをしている人はいないかな、そのような思いをもって周りを見てください。

そして、そんな人を見つけたときには、「大丈夫？」と声をかけてください。一緒に遊んでください。先生や大人に知らせてください。

そうした小さな行動が、平和につながっていくのです。

平和は遠い国の話でも、昔の話でもありません。みなさんの教室の中から始まるものです。

2学期、みなさん一人一人が友達を大切にし、困っている人に手を差し伸べることのできる人になってほしいと思います。

そして、この学校を、みんなが安心して過ごせる平和な学校にしていきましょう。



8月22日（土）の除草作業、ありがとうございました。今年は雨が少なく運動場の草は茶色く枯れていました。しかし、土が固まっていて抜くのが大変だっと思います。斜面の草も手際よく刈っていただき、運動場の隅に運ぶところまで丁寧にももらいました。今後も暑い日が続くと予想されています。昼休みも時間を制限して児童を外に出すことになると思います。

限られた時間内で児童は思いっきり体を動かします。今回の除草作業で児童が安心して遊ぶ環境が整いました。本当にありがとうございました。

水を大切にしよう

26日（水）の夜、51日ぶりに雨が降りました。待ちに待っていた恵みの雨です。しかし、ダムの貯水量に変化はないそうです。

伊万里市や佐賀県では渇水対策本部が設置されました。山代東小学校でも何かできることはないかと考え、9月の生活目標を「水を大切にしよう」に変更しました。また、掃除の雑巾がけは水を使わずからぶきにします。早くまとまった雨が降ることを願うばかりです。